



一人一人が輝き、みんなが輝く2学期に！

校長 小田 ^{としみ} 智美

日本文理高校の甲子園での活躍に、また、北信越勢の躍進に感動や元気をもらった夏でした。ご家庭でも、野球に限らず様々な出来事を通して語り合うことも多かった日々ではなかったでしょうか。新チームで練習や試合に臨んだ各部・特設陸上部、体育祭準備活動、早朝の除草作業、空ビン回収、壁画修復のボランティア、「わたしの主張」での堂々とした発表、地域の伝統行事への参加・・・平中生徒たちのがんばりも光っていました。そのがんばりを支えてくださったご家庭や地域の皆様に感謝します。本当にありがとうございました。

さて、今日から2学期がスタートします。3年生は、進路実現に向けて自分自身をしっかり見つめ、確かな力を付けていく時です。同時に多くの行事を推進し、1・2年生を導いていく重要な時期でもあり、大変ですが3年生の力を期待します。2年生は、平中を支える大事な要の学年です。3年生の力強いパートナーとしての活躍と新たなリーダーとなる自覚の高まり、2年生の力を楽しみにしています。1年生は、平中生らしさ（自覚）が出てきて頼もしくなりました。学校生活の様々な場面で先輩から「平中生の誇り」を吸収して、そこに1年生の味を足していきましょう。こちらもとても楽しみです。

2学期は、体育祭、文化祭、いじめ見逃し0スクール集会等、大きな行事が目白押しです。学級の協力、全校の協力、小中の連携等大きな動きが必要な活動が多くあります。しかし、大事なことは、一人一人が「自分は大事なその中の一人」という気持ちで臨むことです。そして、「自分から」「自分たちから」の気持ちで主体的に動いていくことです。

もちろん、授業・家庭学習も当然おろそかにはしません。両立できる力を身に付けていく良い学期です。一人一人が輝き、みんなが輝く2学期にしていきたいと思います。ご家庭、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

8月2日(土)、平林中学校区郷育会議(瀬賀民男会長)が、福田にある高速道路高架トンネル壁画修復作業を行いました。砂山小学校渡辺校長先生の指導のもと、平中からは、17名の生徒ボランティアが参加し、協力して丁寧に修復作業を行いました。通学路にもなっている場所ですが、お近くにおいでの際は、是非ご覧ください。



「わたしの主張」村上岩船地区大会 優秀賞！

8月23日（土）、「わたしの主張」村上岩船地区大会が村上教育情報センターで行われました。平林中学校からは、3年生の田島隆斗さんが出場し、優秀賞を受賞しました。田島さんは、夏休み中も主張文発表のリハーサルを繰り返し行い、たいへん頑張っていました。田島さんの原稿を掲載しましたのでお読みください。

「臓器移植から命を考える」

平林中学校3年 田島 隆斗

「グリーンリボン」と聞いて、何を表すかわかる人は少ないと思います。グリーンリボンは、移植医療のシンボルです。臓器移植は、臓器が機能しなくなってしまったときに、亡くなった人の健康な臓器と交換する治療法です。臓器を提供する人をドナー、提供を受ける人をレシピエントといいます。

日本で唯一、臓器移植の斡旋を行っている機関「公益社団法人日本臓器移植ネットワーク」。現在、この機関に心臓、肺、肝臓、腎臓、すい臓、小腸の移植を希望して登録している人は、1万人以上います。しかし、昨年の提供件数は84件、移植件数は281件と、まだまだ追いつかないのが現状です。

ところで、臓器を提供する前提となる「死」には、2種類あるのを知っていますか。

1つ目は、心臓が止まって血が流れなくなる、心臓死です。この場合に提供できる臓器は、眼球、腎臓、すい臓の3つです。

2つ目は、脳のすべての機能が回復しなくなる、脳死です。事故や脳の病気で起こることが多く、心臓は動いていても意識はなく、呼吸も止まってしまう。しかし、人工呼吸器を使うと酸素を血液に送ることができるので、体は温かく、爪や髪も伸びます。見た目は眠っているように見えても、元の元気な状態に戻ることはなく、やがて心臓も止まってしまうのが脳死です。この場合に提供できる臓器は眼球、心臓、肺、肝臓、腎臓、すい臓、小腸の7つです。

あなたは、自分や家族の一生が終わったときに、まだ使える臓器があったら提供するかどうかなどと、考えたことがありますか。なかったとしても、今、このように問われて、どう考えますか。「心臓死のときは提供してもよいが、脳死のときは嫌だ。」とか、「どちらの場合でも、眼球を提供するのには抵抗がある。」あるいは、「自分はよいが、家族が脳死になってしまったら断る。」など、さまざまな考えがあり、どの気持ちも、その人の視点から見れば納得のいくものです。

家族の場合はわかりませんが、今の時点では僕は、自分が死んだら脳死、心臓死のどちらの場合でも、まだ使える臓器があれば提供したいと考えています。だからといって、「それが正論だ」と僕の意見を押しつけるつもりはありません。僕には僕の命に対する考え方があります。

僕がまだ小学生だった頃は、僕自身、臓器移植に抵抗がありました。死後とはいえ、自分の臓器が取り出されるというのは考えられませんでした。ましてや脳死の場合など、蘇

生の可能性があるのに間違っただけで脳死と判断されたらと考えると、臓器を提供したいと思えるはずもありませんでした。

しかし、中学生になって将来の目標がある程度決まってくると、命に対しての考え方が変わりました。それまでは、ただ長生きすればするほど、よいことだと考えていました。しかし僕は、人生は長さだけではなく、中身が大切だと考えるようになったのです。その中身で何を大切にするか。僕は小学生のとき担任の先生が言っていた、「自己犠牲」という言葉を思い出しました。自己犠牲も度が過ぎるのはよくありませんが、僕は将来、人の命を守るために自分を犠牲にして働ける医者になりたいです。人の死に際して、悲しい思いをする人がたくさんいることを考えると、人の命ほど大切なものはないように思えます。だからこそ、自分を犠牲にしてでも守る価値があると思うのです。

そう考えているうちに、自分が死んでも、まだ使える臓器があれば、人に提供したいと思うようになりました。また、もしも万が一、間違っただけで脳死と判断されてしまっても、そのことを恐れるのではなく、そのときに「自分は精一杯生きたから、悔いはない。」と思えるように生きていきたいです。

臓器移植をしたいかしたくないか。この問題に正解、不正解はありません。ただ1点、臓器提供によって救われる命があることは事実です。もっと多くの方が、この問題と真剣に向き合って考えていくことが、命の尊厳を考えるうえで必要なのだと思います。

「2学期に頑張りたいこと」(8月28日始業式で)

家庭学習と自主学習で成績アップ!



私が2学期に頑張りたいことは2つあります。

1つ目は計画的に学習に取り組むことです。私は計画を立てることは得意ですが、それを実行することは得意ではありません。1学期は、定期テストに向けての家庭学習の予定はしっかり立てたのですが、実行はできず、最後にワークなどをためてしまい、テスト勉強が満足にできませんでした。だから2学期は、毎日実行できるような計画を立て、大変でも頑張っていきたいです。

2つ目は、そのための自学(自主学習)です。私は、1学期、自学をあまりしていませんでした。不得意教科の苦手なところがなくなり、テストでいい点数がとれませんでした。2学期は、毎日苦手なところを復習することを心がけていきたいです。そして、テストでもっといい点数をとるようにしたいです。

2学期は、行事がたくさんあり大変ですが、この2つのことを頑張り、テストで後悔しないように一生懸命に取り組んでいきたいです。

【1年1組 石田 理奈さん】

感動の体育祭、そして計画的な勉強を!



私が夏休み頑張ったことは、2つあります。

1つ目は、部活です。私の部活での目標は、スパイクとサーブを強化することでした。私はもともと腕の力が弱いので、威力のあるスパイクを打ったり、サーブを入れ続けるこ

とが苦手でした。ですから、腕の力をつけることや、よく注意されることを意識して頑張りました。そうすると、前よりもスパイクやサーブがきまるようになりました。目標を達成することができてよかったです。

2つ目は、駅伝です。私は初めて駅伝の選手に選ばれたので不安でしたが、自分なりにあきらめないで練習に臨むことができたのでよかったです。私は、タイムがおそいのでこれからの練習でタイムを伸ばせるように頑張っていきたいです。

次に2学期のめあてを2つ決めました。

1つ目は、体育祭についてです。今年で私にとって2回目になる体育祭なので、去年学んだことを生かし、3年生のことをサポートしつつ、1年生をまとめて自分の役割を果たしたいと思います。そして、感動する最高の体育祭にしたいです。

2つ目は、定期テストについてです。私はいつも取り組むのが遅くなってしまうので、計画的に勉強をすすめて良い点をとりたいです。

2学期はこの2つのことをめあてにして頑張りたいです。

【2年1組 竹内 美歌さん】

自分を成長させる2学期に！

私が夏休みを振り返って、反省しなければいけないことは、時間を有効に使えていなかったことです。駅伝練習や応援練習がない土日やお盆休み中は、遅い時間に寝たこともあり、早く起きられず、午前中はほとんど何もしないということが続きました。早寝早起きをしていれば、朝寝ていた時間に課題を進めたり、受検に向けた勉強をもっと進めたりすることができたと思いました。

2学期に頑張りたいことは2つあります。1つ目は体育祭と文化祭です。体育祭では、応援団としてみんなを引っ張っていき、一致団結して最高の体育祭にしたいです。文化祭の合唱は、聞いてくれた人たちに感動を与えられるような合唱にしたいです。私たちの学年は人数が少ないですが、「この人数で、これだけの歌が歌えるのか！」と言われるように仲間と協力して練習していきたいと思います。

2つ目は、家庭での勉強の取り組み方です。2学期は定期テストが2回あります。また、単元別テストや実力テストなど、受検のためのテストが毎月あります。習ったことを身に付けるため、復習に重点を置いて勉強を進めていきたいです。2学期が終わればいよいよ受検を迎えることになるので、本気で勉強に取り組んでいこうと思います。

2学期は、行事や受検勉強を通して、自分を成長させていけるよう頑張っていきたいです。



【3年1組 奈良橋 亜未香さん】

PTA文教部講演会に来てみませんか。

- 期 日 9月26日(金)午後1時50分～3時(予定)
- 会 場 多目的教室(2階)
- 講 師 高橋 なんぐ 様(新潟お笑い集団NAMARA)
- 講演内容 「海外旅日記」

※ 保護者の皆様、地域の皆様、お時間がありましたらどうぞお越しください。



平中健児ここにあり！

県総合体育大会【7月25日・26日】

陸上	○共通女子走り高跳 野澤菜菜子 惜しくも北信越出場ならず。 ○共通女子砲丸投げ 武者ほのか 惜しくも北信越出場ならず。
卓球	○女子個人戦 齊田 涼花（10位）【北信越大会出場】

北信越大会【8月7日】

卓球	○女子個人戦 齊田 涼花 1回戦 長野県東北中学校（2-3）惜敗
----	----------------------------------

齊田涼花さんの北信越大会出場を祝し、また健闘を祈り、校舎3階に激励文を表示しました。



生徒のために、ありがとうございます(PTA除草作業)

8月23日(土)、24日(日)の2日間にわたりPTA除草作業が行われました。早朝から、多くの保護者の皆様、同窓会や地域の皆様が参加してくださいました。

また、昨年度から生徒も参加するようになりました。今年参加した生徒の中には、部活動の大会や練習に向かう生徒が時間の許す限り除草作業に参加するなど、「自分たちが使うグラウンドは自分たちが大切にしよう」という意識の高まりが感じられました。

参加された方は、草刈り機や鎌を持参し黙々と作業してくださり、平林中学校の生徒のために協力を惜しまない気持ちが生徒に伝わりました。おかげ様で、9月6日(土)に行われる体育祭で生徒が存分に力を発揮する環境が整いました。

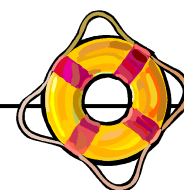
誠にありがとうございました。

保護者、地域、同窓会の皆様が、機械や、鎌で草を刈りました。生徒は、おもに校舎周辺の除草をしました。



鎌で刈る→刈った草を集める→一輪車で運ぶ。生徒のために、皆様、頑張ってくださいました。





事故防止について

皆様ご存じのように、8月1日、荒川で、遊泳中の荒川中学校の生徒が亡くなるという大変痛ましい事故が発生いたしました。

当校では、夏季休業前に文書等を通して繰り返し水難事故防止の注意喚起をしてきました。水難事故防止に関しましては、各学級での指導はもちろんのこと、終業式には生徒指導主事より全校生徒に再度指導をいたしました。

8月1日の水難事故は夏季休業中であり、全校生徒が一斉に集まる機会はありませんでしたが、夏休みに入っすぐの事故、しかも近隣の中学校で起こった事故でありましたので、8月2日以降に、下記のように川や海など水の事故に関する指導を繰り返いたしました。

また、8月19日には、告知端末による放送も行いました。ご家庭においてもご注意くださいようお願いいたします。

1 8月2日以降、生徒への指導の経過

- (1) 部活動に来た生徒には、部活動顧問から指導。
- (2) 体育祭準備活動に来た生徒には、担当から指導。
- (3) 3年生には、8月5日の登校日に3学年部から指導。
- (4) 夏季休業中、登校する予定のない生徒には、担任から家庭連絡し指導。

2 8月2日以降の生徒への指導内容

- (1) 水遊び、魚釣り等に出かけるときは、遊泳禁止区域等には絶対に立ち入らないこと。行き帰りの交通安全にも十分気を付けること。
- (2) 出かけるときは、事前に行き先、帰宅予定時刻、同行者名を家族に知らせること。
- (3) 全国での水難事故の約75%は海や河川で発生していることを踏まえ、安易な考えで遊泳や川遊びをしないこと。海岸の水深や潮の流れ、河川の水深や水量の変化などについて把握していない場所では、特に注意すること。
- (4) 他人の危険な状況や行動を発見したときには、いち早く通報するか、その行動を制止すること。
- (5) 近隣の中学校で起こった事故であることを鑑み、絶対に過信しないこと。特に、部活動練習後や週末は、自分が思っている以上に体は疲労していること。
- (6) 不審者や交通事故などにも、今まで以上に気を付けること。

8月後半、水難事故に限らず、大雨による広島の土石流災害など日本全国では痛ましい事故が発生しております。2学期も、交通事故、不審者、クマの出没などに、十分に気をつけて、学校と家庭が連携し、「自分の身は自分で守れる生徒」の育成に努めてまいりたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。